

令和4年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和5年 3月 31日

事業所名 児童発達支援センター こどもの森

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・子ども達の特性に応じて、個別で対応できるようにスペースを分けるなどしています。	→感染予防や安全面を考慮しクラス単位での活動が主になり、活動場所の確保や使用できる時間が限られていました。今後も子ども達が心地よく過ごせるよう工夫していきたいと思えます。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・その日のクラス構成（人数や障がい特性、活動等）に合わせ職員の配置を変えています。今年は、コロナ等で職員のお休みがりましたが、安全面を考えながら活動も変更しながら対応を行いました。	→指定基準の職員を配置しています。配置は満たしていますが、職員のお休みが出ると、療育に支障が出てしまう事がありました。（内容の変更等） 今後も、職員が連携・共有しながら子ども達1人1人の特性にあった活動ができるよう取り組んでいます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			各部屋（教室や遊戯室）、各月の下駄箱、収納棚、椅子や道具箱などシンボルマークや名前を貼り、子ども達が視覚的にも分かる様工夫しています。限られた部屋ではあるが、活動別に部屋を使用したり、スケジュール表を提示して、行動し易いよう工夫しています。	→身体の不自由なお子様に適した環境整備が不十分な為、関連機関と協議しながら、整備して行きたいと思えます。また、子ども達が安全に過ごせるよう、子ども達の特性に合わせ提示の仕方を工夫していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			→各部屋ごとに大きな収納庫を設け、使用しない備品や材料などは収納し、整理整頓や掃除に心がけています。 運動活動などの部屋には、常時マットや柱のクッションカバーなどを設置してダイナミックな活動でも怪我に繋がらないよう努めています。 降園後は掃除・消毒を徹底し清潔保持に努めています。活動に使用した物品やおもちゃ等の洗浄・消毒なども実施しています。	→今後も感染予防に努めながら、安全面や環境面に配慮していきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・毎朝の朝礼に加え、今年度はメールを活用し、職員との情報共有を図る事で、速やかな情報共有に努めました。	→限られた時間での情報共有に努めておりますが、個別検討については、不十分なところがあります。業務のスマート化や情報の共有化について方法を検討していきたいと思えます。職場環境についてはOJT委員会を中心に業務改善に取り組み、職員全員が参加できる会議の場をもてるよう現在調整をしています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年アンケートを実施しご家族からのご意見をもとに内容の見直しを行っています。	→今後も、ご家族から頂いた意見を取り入れ、業務の改善につなげていきます。コロナの影響で実施できない事があるが、形を変え工夫しながら取り組んでいきます。

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・自己評価の実施やホームページでの公表を毎年行っています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				○	→コロナの影響で例年取り組んできた外部評価が行えていません。今後は、外部評価を再開できるよう進めていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				○	・zoomやwebでの内部研修を今年度は行いました。 →時間の確保が難しい中で業務としての研修が行えていないので、研修の時間を業務として設定し職員の研鑽を図っていきたく思います。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・面談などを通じてご家族のご意向を伺いながら、計画書を作成しています。	→今後も、お子様やご家族の思いに沿った計画書となるよう努めています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・障がい特性や生活能力、認知、行動の評価ができるアセスメントツールを活用しています。不十分な点は、医療機関や保健センター、他の事業所等に協力を依頼する事もあります。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・児童発達支援ガイドラインに基づき項目を記載しています。	→今後も具体的な内容について、ご家族にわかりやすく説明していくよう努めていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・子どもの発達やご家族支援、保育園（幼稚園）生活や就学を意識した支援に努めています。	→今後も、ご家族の意向をお聞きしたり、内容が実践されていない場合や解決に向けて進んでいない場合には支援の仕方を検討していけるよう努めていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・主にクラス担任(保育士)が主体となり活動を組み立てています。OTは発達や特性に即したアドバイスをしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・毎日、運動活動、机上活動、感覚遊びなどの活動を行っています。子ども達が楽しく活動できるように個々に合わせた内容を工夫し取り入れています。	→日々の振り返りを行いながら、活動プログラムが固定化しないよう活動検討が出来るようにしていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				→昨年度より個別療育を実施する事ができましたが、今後も充実に向け取り組みを行っていきます。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 毎日の朝礼では、一日の活動内容、職員の配置や動きの確認を行い全体で把握できるようにしています。朝礼に参加できない場合などはメールなどを活用し共有しています。 	→情報共有を限られた時間の中で行う為、クラス間での細かい打ち合わせができない事があります。活動内容を充実したものと為るよう、情報共有を効率的に行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 支援終了後には、振り返りを行ったり、記録として残しています。 	→限られた勤務時間の中での共有が難しい事があります。今後もそれぞれの職員が意識しやり取りできるよう心がけていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 送迎後には、必ず子ども毎に、その日の様子を記録し次への取り組みに繋がるようにしています。(内容の検討や変更等) 	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で時期を変更する事もありました。 	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、会議の内容に合わせて、クラス担任やOTも参加する事ができました。 	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 母子保健や関係機関との連携は意識して取り組んでいます。 	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 医療機関とは定期的に報告書を提出したり、ソーシャルワーカーを通して医師と連携を取ったり通院に同行し、支援内容を確認しています。保健師さんとも必要時には役割分担をしてサポートを行いました。 	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 常に併用機関との連携に取り組んでいます。必要に応じて話し合いを持ったり、情報提供書をお渡しすることもあります。 	→情報共有等行っていますが、充分とはいえない為、今後も意識して取り組んでいきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校への見学同行や教育委員会への情報提供を行い、就学時には引き継ぎの書類作成を行っています。 	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		→次年度は、職員研修の一環として外部講師を迎え入れた研修会を計画したいと思います。

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				○	<ul style="list-style-type: none"> 現在、約半数の園児が保育所や認定こども園、幼稚園等と併用して利用されていますが、独自の取り組みとして交流の機会を持っていません。 	→今後ご家族のご意見も頂きながら活動する機会がもてるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> センターの代表が推進協議会に参加しています。 	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳で、その日の子ども達の様子を伝えしたり、ご家庭の様子を記入して頂いたりしています。送迎時には直接保護者の方にお伝えするなどし共有に努めています。 	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ご相談に応じてご家庭での支援の方法をお伝えしています。 	→今後も保護者会や勉強会などの開催等、更に充実した取り組みができるよう検討していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> 入園前の担当者会議で説明を行っています。内容に変更があった場合は、お便りでお知らせしています。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援ガイドライン、ご家族の意向に沿った計画書の作成に努め、同意を得ています。 	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートの活用や電話等で相談に対応できるよう取り組んでいます。 	
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> 今年度は時期をずらし1月に保護者会を開催し、活動の様子や災害時の対応、感染症についてのお話をしました。また、保護者同士の意見交換等も行う事ができました。 	→次年度は感染予防に努めながら、早い時期に保護者会を開催できるように整えていきたいと思えます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> 内容によって面談や電話でのやりとりを行えるように努め、センターで解決できない場合には、他機関をご紹介し対処するよう努めています。 	→今後も、ご相談に対応できるよう努めさせて頂きます。また、気軽に相談して頂ける関係づくりに心がけていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> 毎月園便りを発信し、その月の行事についてやクラスでの取り組みなどを掲載しています。また今年度よりコードモンを導入し連絡や発信方法を広げる事ができました。 	

	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に、個人情報の取り扱いについての説明と同意書の記入をして頂いています。事業所内では、鍵付のカルテ庫に収納し取扱いには十分注意しています。 	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード等を活用し、視覚的な支援を取り入れています。 	→意思疎通の方法については研鑽しながら充実を図っています。より良い配慮が出来るよう継続して取り組んでいます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で実施できませんでした。 	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> →緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しています。対応に変更がある場合は、随時内容の見直しを行っています。毎月発生を想定した訓練を実施しています。1月の保護者会時には、訓練の様子や実際に災害が発生した場合の避難までの流れ、対応について具体的に説明を行いました。 	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回災害訓練を実施しています。(火災・地震・風水害・防犯・送迎時など) 	→災害時や緊急時に子ども達が安全に避難できるよう、今後もいろんな場を想定した訓練ができるよう努めています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の面談や生活調査票で、服薬状況やてんかん等の有無、予防接種の状況についての把握しています。途中で該当する状態が生じた際には、必要な処置と服薬状況の確認(処方箋の提出)をして適切な対処が出来るよう努めています。 	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の面談で、食事についての聞きとりをし、アレルギー対応の場合は栄養士と内容の共有を図り食事の提供を行いました。必要に応じて通院に同行し状態を医師に伺う事もありました。 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ケガや転倒など事故につながる可能性がある事柄について、記録で残し対策について検討しています。 	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はwebでの内部研修を実施しました。 	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか					→現在対象となる児童はいません。

○ この「事業所における自己評価表結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。